

編輯室內外

時の流れはやくして「五月雨は田子のもすそや朽ぬらん衣ほすべきひましなけれは」と嘆ずるの季節となつたが飲料水すら缺乏を告ぐるが程に雨なく、昨は水電の減力にやまされた吾人は今また水乏しくして喉を嚙まざると思はるることである、缺乏に次ぐに缺乏を以てする物資もこのまゝで缺乏すれば所詮人力では如何とも詮方なきものか。

恒例に依り地方長官會議、經濟、警察、學務等地方各部長の事務打合せが陸續として東都に於て開催される、中央政府の意志を以て得ば會合の目的は達するなるべしと思はる、這次地方長官會議を終へて大臣方の感想を求むれば從來の如き無味乾燥お座なりの訓示指示に終始したるとは大に趣を異にして懇談會席上自由な且なごやかな雰圍氣の裡に地方長官から思ひ切つた意見や地方の真相が述べられたことは本會議の一の特長であるかの感を懐かれたやうである、成る程十數年前からは地方長官は聞き役を努めた觀もあつたが明治八年五月創設された當時の地方長官は大臣どもと何にも懸隔のある人物でないので中々硬論百出したものだ此會議は三回で廢せられたが其の

後再興純地方長官會議として開かれ相當論議し原敬氏内相時代でも事もなげなる長官達の議論も聞かれたものである、時代は繰り返すものだとの感無量。

府縣制發布五十周年記念式が五月十七日各府縣所在地で舉行され功勞者も表彰されたり而かも府縣會議員たりし古老や府縣吏たりし老吏から種々の珍聞奇話が放送されたり興味を感じたが新潟縣の大竹翁の追懷談の如き京都府の西林氏が當時宴會費實際費など月二、三百圓はいるので議員になれば一財産を棒にふるといはれた程で現在のやうに小金をためようなどは全く思ひもよらないところであつたとの述懐談など其の優秀な物談である。

誰かいふ歐洲の動亂の繼續は對日本に利あり、日支事變の終結は歐洲動亂の終息と繼續との如何によりて支配されると、果して然るか、歐洲の動亂は決して對岸の火災視を許されぬ、近くは太平洋上蘭印の問題は複雑怪奇の異状なきか、萬難を覺悟して飛躍すべきは夫れ我日本か、對立闘争激化の世態を共存共榮相助親の平和の姿に歸着せしむるの使命は日本民族の双肩にかゝる所ではないか。

今日の政治は慎重なる調査研究と高度の倫理道德と複雑な技術と速定即決を要する

果斷と斷行とを要求されて居るが神慮りな、直感主義と思ひつきで働による政治は愈々益々政治を混濁と不安の當面に舉事である、國民實生活に於ての正しき指導問題であらう、國民精神總動員運動であらう、政治の腰だめ主義は今日の場合遠慮すべきであらう。

獨逸の速戰即決を企つるものと英佛の長期必勝の速戰即決を企つるものと英佛の對立が今歐洲の動亂である、世界中最も相対する電撃的攻略の目標は何處に在るか、北歐小國に對して飛行機墜落光線、睡眠車、快速戰車、鐵道砲、新銳爆擊機、無電機兵器、快速戰車、磁氣機電等あらゆる新機械兵器を使用すること、英佛の長期必勝の秘策は如何。(洗)

定價一部 五十錢  
一ヶ年分 金六圓

發行所 東京市麹町區霞關一丁目内務省內  
社團 道路改良會  
電話銀座(57)四二七

編輯者 東京市世田谷區代田一丁目七八〇  
小島 效

印刷所 東京市小石川區諏訪町五十六  
常磐印刷所  
印刷者 奈良直一